平成２４年度ウイング高等学院卒業式

開催日：平成２５年３月３１日
掲載日：平成２５年４月３日/デーリー東北新聞

卒業生9人羽ばたく

八戸・ウイング高等学院

日本航空高校（山梨県、梅沢重雄校長）普通科通信制課程で学ぶ生徒をサポートする、八戸市のウイング高等学院（畑山篤学院長）の2012年度卒業式が3月31日、八戸グランドホテルで開かれた。卒業を迎えた9人は、保護者や講師ら支えてくれた人への感謝を胸に、新たな旅立ちへの一歩を踏み出した。

畑山学院長によると、生徒は不登校などを理由に、同高校に転校し学習に励んだ。卒業後、進学や就職など、それぞれの道に進む。

式には卒業生6人のほか、保護者や在校生ら約30人が出席。同高校の玉井康宏副校長が、引き締まった表情の卒業生一人一人に卒業証書を手渡し、学び続けた努力をたたえた。

卒業生を代表し、あいさつに立った同市の三浦健人さん(18)は、4月から東京自動車大学校（東京）に進み、1級自動車整備士を目指す。

出席者を前に「地域の人に、安全で楽しいものを提供できるように頑張る。両親や仲間など、卒業に関わってくれた人に感謝したい」と力強く語った。

（福山拓司）

新たな進路への意気込みを力強く語る三浦健人さん

磯料理 喜利屋
国道45号線沿（洋野町種市）

交通死亡事故ゼロ100日達成

八戸市

青森県警（山本有一本部長）は2日、八戸市が交通死亡事故ゼロ100日を達成したとして、同市交通安全対策協議会（会長・小林眞市長）と、同市交通安全母の会連合会（中城ちさ会長）を表彰し、功績をたたえた。

中城会長は「これからも精いっぱい頑張りたい」と事故防止に向けて決意を述べた。

同市では昨年12月21日夜に国道104号で60代男性が軽トラックにはねられ死亡して以来、死亡事故は発生しておらず、1日に10日一日、記録更新に向けて頑張ってほしい」と激励した。

（下田由理恵）

山本有一本部長（右）から表
中城ちさ会長（中央）と星野

毎朝、街頭活動を行うなど精力的に活動している。

県警本部で行われた表彰式で、山本本部長が同協議会の星野豊副会長と中城会長にそれぞれ感謝状と表彰状を手渡した。星野副会長は「事故はいつ遭うか分からない。一人一人が自覚して気を付けなければ」と述べた。

山本本部長は「八戸市は（事故防止のため）パワフルに頑張っている。これからも一日一日、記録更新に向けて頑張ってほしい」と激励した。

（下田由理恵）

新作約200点に、来場者が見入っている。8日まで。

蛯名さんは旧上北町出身。高校卒業後、京都、埼玉で染織の図案制作に携わり、45歳の時に帰郷してから独学で作陶を学んだ。持ち前のデザイン技術を生かした絵付けは、根強い人気がある。

蛯名さんは「特に手を掛けた作品ばかりを選んだ。出来栄えを見に来てほしい」と話している。

入場無料。時間は午前10時～午後7時。8日は午後4時まで。

（井上周平）

三戸町相撲協会

三戸町相撲協会（小笠原君男会長）の設立50周年を30日、で開かが半い、た。

同に設県初の誉町た斗部が

国大会などの開催、運営に携わってきた。

現在会員は約30人。高校や大学で相撲をしていた会員が指導者となり、週2回小学生を対象に相撲教室を開いている。

式典では、小笠原会長のあいさつに続き、初代会長の田畑繁さんら7人に記念品を贈呈。県相撲連盟の蛯名義正会長の音頭で乾杯し、出席者はこれまでの歩みや思い出話に花を咲かせた。

小笠原会長は「相撲をする子どもが少なくなり厳しい状況だが、女子相撲に取り組む子もいる。全国大会で活躍できる選手を育てられるよう、希望を持ちたい」と話していた。

（松本正人）

6
0178(87)3071
五戸
0178(62)3177
新郷倉石
田子
0179(32)2040
＜購読申し込み＞
本社販売部
0120-365-339